



かたくり



世界にひとつ！私だけのバッグが出来ました♪

～サロン交流会開催～



3月8日、蘇陽支部にてサロン交流会を開催し、25名の方が参加されました。日頃、地域で行っているサロン活動等について情報交換を行った後、手工芸として「手作りバッグ」を制作しました。真剣な表情で制作に取り組んでおられ、時には会話を楽しんだりアドバイスをし合いながら、それぞれが思い思いの作品を作り上げられました。



制作前にちょっと体操



切るとのこまかけんやおいかんぱい



地域での取り組みについて発表して頂きました！



どぎゃんデザインにしようかね～



可愛らしい作品が出来上がりました♡



昼食交流で会話も弾みます

地域の支え合い活動

山都町生活サポートセンター

社会貢献と生きがい就労

“支援を受けたい人（依頼会員）”と“支援を行いたい人（支援会員）”をつなぐ会員組織です。

高齢となり日常生活で「ちょっと困ったな、手伝ってほしいな」の声に地域住民同士が気軽に支えあえる相互支援活動です。有償の活動ですが、営利を目的とせず、依頼者の負担軽減や感謝の思いを謝礼金(報酬)のやり取りで表しています。会員登録をすることで、支援活動をするということも依頼して支援を受けることもできます。自分にできることや元気な時に手助けが必要な人に手を差し伸べ、「お互いに支え合うことができる」仕組みです。

利用の流れ

①会員登録 → ②お手伝いの依頼 → ③活動依頼 → ④顔合わせ → ⑤活動開始

活動報酬

30分 500円
それ以上は30分ごとに500円加算

依頼できる内容

手紙代筆 電球交換 ゴミ出し (町回収に限る)



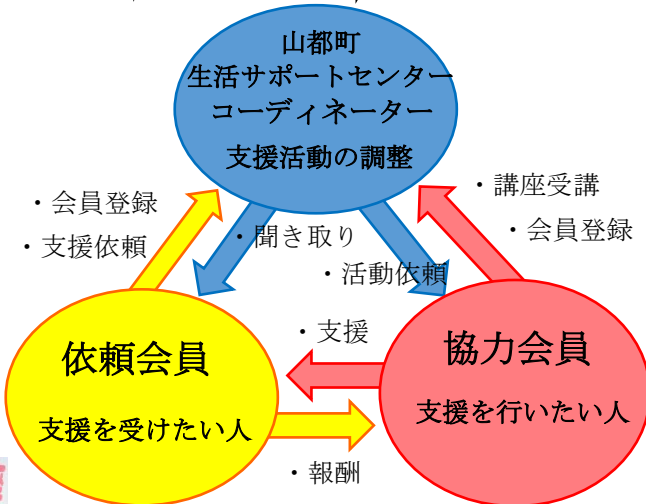
家事支援(掃除・食事準備・洗濯) 入院中の支援(届け物)
その他、社協が認めるもの

※協力会員として活動するには、事前の養成講座を修了し、登録が必要です。

山都町生活サポートセンター協力会員養成講座
山都町社会福祉協議会



3月13日、第1回講座では30名が受講されました



「ちょっと困っているので〇〇をお願いしたい。」「私にできることがあれば協力します。」と思われた方は下記の山都町社会福祉協議会各支部までご連絡ください。

問い合わせ先・登録先

・本部(清和支部)清楽苑内 82-3345 ・矢部支部 千寿苑内 72-3211 ・蘇陽支部 蘇陽支所内 83-1751

～掲示板～

日本赤十字社会費(社資)納入のお願い

平成30年度も5月から赤十字会員運動が始まります。山都町では6月に区長・組長・世話係の皆様を通して運動を実施して参ります。会費は1世帯500円です。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

平成29年度実績
4,833件
2,422,253円

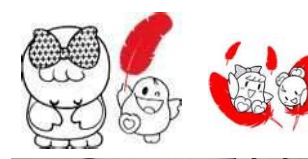


©2010 熊本県くまモン #K28593

平成29年度赤い羽根共同募金実績報告

10月1日～12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動を展開しました。住民の皆様のご理解と御協力のもと心温まるたくさんの募金をいただきました。お寄せ頂いた募金は約7割が山都町の地域福祉活動のために使われます。ご協力ありがとうございました。

募金種類	件数	金額
戸別	4,691	2,172,330
法人	16	104,000
学校	9	49,201
職域	19	145,966
イベント	3	16,685
その他	37	300,714
合計	4,775	2,788,896



蘇陽中学校(学校募金)

※この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金および会費、寄付金の一部で作成しています。

編集・発行 社会福祉法人 山都町社会福祉協議会 本部(清和支部) 82-3345 矢部支部 72-3211 蘇陽支部 83-1751

地域福祉推進フォーラム

2月6日、地域推進フォーラムが熊本テルサにて行われ、30地区福祉会長が参加されました。

初めに「増進型地域福祉をめざして」というテーマで大阪府立大学の小野達也氏より基調講演がありました。増進型とは、公的福祉の穴埋め的なものではなく、理想の地域を目指す部分に自発性や民間性、地域性を発揮したものということで従来の「問題解決型」ではなく、「目的実現型」という考え方です。

その後、県内外から3名のシンポジストがそれぞれ実践報告をされました。熊本県からは山都町白糸第一地区のピンポンサロンの取り組みを福祉委員の坂田培子さんが熱い思いを持って発表されました。出来上がったもののばかりに注目されがちですが、この取り組みに至るまでの経過が大変重要で、白糸第一については、坂本福祉会長が長い時間をかけて土台を築いて来られていました。その気持ちに坂田さんが応え、坂田さんの気持ちに地域の方が応えられたものが形になったのです。発案者を孤独にしない関係作り、環境作りの難しさと大切さを改めて感じる機会となりました。

基調講演をされた小野達也氏



実践報告をされる坂田培子さん



シンポジウムでの実践報告

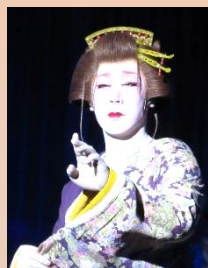


講演を聴かれる福祉会長の方々

在宅介護者交流会

3月9日、在宅介護者交流会という事で、熊本市の片岡演劇道場での観劇を主な内容として開催しました。

初めに千寿苑にてオリエンテーションを行い、自己紹介や現在の状況などを互いに話してもらいました。ある方が“私よりも先に逝ってね”と常に思っていると云われた事に対して多くの方が共感されていた事が大変印象的でした。家族の事情や悩みは家族にしか分からないというのは、介護に限った事ではありませんが、温かい言葉を掛け合えるような地域を目指したいものです。



滝夢之助「光栄座」

観劇では、圧倒的な芝居の世界に魅了され、参加者の皆さんからも「良い気分転換になりました。明日からまた頑張れそうです。」という感想をいただきました。



オリエンテーションの様子



出演者と一緒にパチリ☆

地域の様子

健康寿命の延伸へ

3月6日、川口地区にてサロンが行われ、栄養についての講話とレクリエーションを楽しみました。



ジャンケンで勝って下さ〜い!?

血圧測定後、栄養士さんより、頭の体操とお酒や砂糖の適度な摂取量、バランスのとれた食事について講話がありました。スカットボールでは平昌オリンピックピックにも負けない熱い戦いを繰り広げられました。



メダルをもらった皆さん



気持ちのよか〜♪

メダル授与の表彰式もあり、「初めでもろたけんうれしか〜」と会場は笑顔と笑いで包まれました。『地域で集まり、笑顔で過ごす』サロンの醍醐味を感じた一日となりました。



今日もまたゲートボールで足踏え



桜の木の下でおしゃべりタイム



環境整備もみなさんでされています

御岳地区川内でゲートボールをしている方々にお話を聞きました。ほぼ毎日、こうやって集まっているそうで、ご夫婦が二組、平均年齢は80歳以上!!運動しながら、お互いを見守り、見守られる場になっているようです。

目配り・気配り・心配りを!

地域で取り組む認知症予防



講師の川畑智氏

3月30日、菅尾自治振興区福祉講演会が開催されました。認知症予防に加えて認知症の方とのコミュニケーションについて話があり、私達の普段の言葉遣いや態度が認知症の方を不安にさせていたり、認知症の方はいつもすべて出来ない訳ではない事を改めて学ぶ機会となりました。為になる内容の中にも笑いあり、会場は終始笑顔に包まれていました。



認知症予防で盛り上がりました



福祉部長の春高徳子氏

退職者紹介

平成30年3月31日をもって下記の職員3名が退職となりました。藤原兼子は今後も再雇用で社協の業務にあたりますのでよろしくお願いします。



へき地保育所 書記 下田 里美
訪問介護事業所 所長 藤原 兼子
小峰保育所 園長 井手 典子

車椅子寄贈

3月1日、一般財団法人えがお健康財団より車椅子を1台寄贈して頂きました。山都町社協を含め県内の市町村社協へ合計10台の車椅子を寄贈されました。大切に使用して頂きます。



社協では車椅子などの福祉用具の貸し出しも行っております。貸し出しを希望される方は社協各支部までご連絡下さい。